



2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES

写真選定 流田龍扶会員

Rotary  倉敷南ロータリークラブ  
国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961  
〒712-8051 倉敷市中殿6丁目6-17

第 2890 例会 R. Song 「奉仕の理想」 天候：晴れ No.2890/2022. 6. 3

Guest なし

Visitor ロータリー米山記念奨学生 リーシューチン様（倉敷芸術科学大学）

出席 会員数 58 名（うち出席規定免除者 15 名@2 名㊦13 名）

6/3 の出席率 72. 34%（出席者 34 名、内㊦4 名）

欠席 古山、唐川、中川、中西、沼本、小田、小野、田原、和田（一）、渡辺（英）、山本、横田、吉住、各会員（13 名）

●杉原副会長

- ・ 6 月に入り雨のシーズンを迎えますが、6 月の別名は水無月であります。「無」という漢字にほとんど意味はなく、水の月という意味であるとのこと。
- ・ 1 週間ほどで梅の実が最も熟す頃、梅雨を迎えます。皆さま体調管理にご留意いただきたいと思います。

●幹事報告（井上幹事）

- ・ 6 月の国際ロータリーレート 127 円/ドルのお知らせ。他、通知 12 件

●親睦・家族委員会報告（安藤副委員長）

- ・ 6 月お誕生日の方：篤田（晴）、青井、井上、古山、各会員 4 名

●雑誌（記録）委員会報告（横山委員長）：ロータリーの友 6 月号の記事紹介

- ・ 今年度の RI 会長のラストメッセージ、2022 年規定審議会リポート（これまでの歴史の振り返り）、来年度の企画としてロータリー俳壇、創立合同記念講演会（ノーベル賞受賞者・大村智博士）のライブ配信などが掲載されています。

●ゴルフ親睦会（流田幹事）

- ・ 6 月 5 日に第 7 グループ合同ゴルフコンペを倉敷カントリーにて開催予定で、当 RC より 11 名が参加予定です。

●スマイル報告（安藤副 S.A.A）

- ・ 浜崎会員：本日より都市対抗野球大会の予選が開催されます。JFE 西日本の皆さ

まともに本大会に出場したいです。

- ・流田会員：5月20日、瀬戸埠頭、メタルワン菱和の親会社である三菱商事と倉敷市は「地域振興に関する連携協定」を締結いたしました。伊東香織市長と調印をし、様々な分野で先進的な取り組みについて研究、成果出しを行います。グループ企業として我々も一緒に地域貢献して参ります。
- ・柳沢会員：3年ぶりの都市対抗野球本選出場を目指し、本日、三菱自動車と1回戦です。両チームの応援をよろしくお願ひします。
- ・吉住会員：素敵なた花束を妻にお送りいただき、深謝しております。

●プログラム卓話：クラブ協議会「次期会員増強・R財団合同セミナー報告」

佐藤会長エレクト、石田次期幹事

[会員増強セミナー]

- ・説明者の札幌幌南 RC 羽生様は札幌ライラック衛星クラブを設立された。衛星クラブは人数や資金が少なくても設立可能で、通常のロータリークラブと比較すると敷居が低い。本衛星クラブの設立3年後にロータリークラブが設立された。
- ・ロータリークラブは、世界で140万人、46,000のクラブが存在している。このうち、女性ロータリアンの割合は25%、女性ローターアクトの割合は52%です。
- ・クラブには衛星クラブ、パスポートクラブ（会員は特定のクラブではなく、地元や世界中の例会に出席）、法人クラブ（同じ職場メンバーで構成）、活動分野に基づくクラブ（特定分野で活動）の4種類が存在している。
- ・会員が求めていることは、地元での社会奉仕、人とのつながり、職業人としての成長やリーダーシップ育成の機会。ロータリーはDEI（多様性、公平さ、インクルージョン）の進展に取り組んでいる。インクルージョンは、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識を持てるような文化をつくること。

[クラブ活性化とロータリー財団]

- ・国際ロータリーでは特にポリオ根絶に向けて取り組むこととしており、根絶されるまでは、世界共通の目標は設けないことが理事会で決議されている。
- ・クラブ戦略計画の基本はビジョン策定であり、大風呂敷を広げて将来のクラブ像を描くこと、クラブ全員で話し合うなど、全員で参加して進めていくことが重要。
- ・インパクトのある方針プロジェクトを行うこと、公共イメージの向上、会員増強の3つの要点を回していくことでクラブの活性化につながると考えている。
- ・美観地区では、来訪者がコロナで半減しており、観光客を呼び込み、まちの活性化を図るため、XRアートプロジェクトを進めており、当ロータリーは、関係機関との調整などを行っている。皆さまにも活動をアピールしてもらいたい。

例会プログラム予定：

2022年6月10日(金)卓話「高梁川流域の文化と歴史」児島塊太郎様(陶芸作家、加計美術館館長/総社RC) 2022年6月17日(金)卓話 この一年を振り返って